

平成23年度 特別活動部 活動報告

1 研究テーマ

お互いを認め合える学級づくり ～考えをねり合う話し合い活動を通して～

2 組織

顧問：二平 芳信（燕市立燕東小学校） 部長：竹部 啓二（燕市立吉田南小学校）

部員数 9名

3 活動の概要

(1) 総会、第1回研究部会

① 実施期日・会場 4月20日（水） 弥彦村立弥彦小学校

② 内容

ア 特別活動部の組織づくり イ 研究テーマの決定

ウ 活動計画の作成

(2) 第2回研究部会

① 実施期日・会場 6月1日（水） 燕市立吉田南小学校

② 内容

ア 部員一人一人が、研究テーマに沿って行った学級活動や児童会、委員会活動などの実践を、A4版1枚程度のレポートにして、紹介し合う。

イ 紹介された実践の良い点、改善点等について意見交換することで、今後の自分の実践に生かせる情報を持ち帰る。

(3) 第3回研究部会

① 実施期日・会場 11月30日（水） 燕市立燕東小学校

② 内容

ア 部員による公開授業と協議会

〔授業者〕 大倉佳代子 教諭（燕市立燕東小学校）

〔指導者〕 小林 靖直 様（燕市教育委員会指導主事）

イ 授業の概要

（活動名） 互いの頑張りにビックハズ！〈5年生学級活動〉

（ねらい）

・学級の仲良し度アップに向けての活動を話し合うことができる。さらに、話し合い活動を通して、全員が同一方向に向かって協力し合う大切さに気づき、決まったことを実践していこうとする意欲をもつことができる。

（提案性）

・互いを認め合い、さらに仲の良い学級にしていくために『何ができるか』を真剣に考えさせるための手立て……「仲良し度チェック表」

・学級会をスムーズに進め、話し合いを活性化するための手立て……「教師と議長団による準備委員会の設置」「学級の約束事：話し合い8カ条の作成」「5年1組話し合いマニュアルの活用」

ウ 協議会の概要（略）

4 成果と課題（○成果 ●課題）

○ 学級会は子どもが主体となって進めることに教育的意義がある。「教師と議長団による準備委員会」「学級の約束事：話し合い8カ条」「話し合いマニュアル」は、その仕掛けとして大変効果的であり、他の学校でも実践してみる価値が十分にある。

○ 話の聞き方、発言の仕方等の学習スキル指導を普段からきめ細やかに行っていくことが、考えをねり合い、話し合い活動をスムーズに進める基盤となることが分かった。

● 学級会において、教師が話し合い活動のどんな場面でどのような支援を行うかを、実践を通して明らかにしていく必要がある。